

# はばたき

橋北小学校  
学校だより  
No.13  
H30. 6. 26

早いもので夏休みまで1か月を切りました。夏休みは外出が普段より多くなりがちです。最近、自分が気をつけていても巻き込まれる痛ましい交通事故も起きていますが、改めて自分の身は自分で守る気持ちをしっかり持って日常生活を送ってほしいと願います。

## ◆自分の命を守る交通安全教室の実施

6月18日(月)は、全校で交通安全について学習しました。交通安全教室は毎年実施しています。今年度は道路管理課のとみまつ隊の皆さん4名にお越しいただきました。



低学年・中学年・高学年の3つに分かれて、それぞれ1時間ずつ、学年に応じた自分たちの命を守るための交通ルールやマナーなどについて学習しました。

1・2年生の内容の中心は歩行者が守ること、3・4年生は自転車の乗り方の基本、5・6年生は自転車の乗り方の発展的な内容を学習しました。どの学年も映像をみて、どこが危険なのか、どんな危険が待っているのかなどについてクイズ形式で考えられるようにしてもらっているので、わかりやすく学習できました。その学習の一部を掲載します。

**歩行者として守ることは** ⇨ 歩行者の **は・ひ・ふ・へ・ほ** で覚えました！  
**は・ひ・ふ・へ・ほ** とは？ ⇨ 答えは下に。

- ◆ボールなどを追いかけて急に飛び出さない。
- ◆道を歩くときは横に広がらない。縦に並んで歩き、前からだけでなく、後ろからの自転車にも注意する。
- ◆狭い道から広い道に出るときは必ず一度止まって右左右と確認し、車が来ないことを確かめて渡る。
- ◆止まっている車の後ろで遊ばない。運転者から見えないので、車が動くかもしれない。
- ◆横断歩道で待つときは、左折の大きな車に巻き込まれないように安全なところまで下がって待つ。
- ◆横断歩道でないところを渡らない。横断歩道はふざけて渡らない。
- ◆青信号が点滅しているときは、次の信号が青になるまで待つ。信号無視はしない。
- ◆暗くなって外出するときは、車の運転者からよく見えるように白や黄の目立つ服を着るとよい。反射板を身に付けることもよい。
- ◆踏切で警報機がカンカンと鳴り始めたら絶対に渡らない。  
列車が通りすぎるまで待つ。 を守りましょう。



答えは、**は** しらない **ひ** ろがらない **ふ** ざけない  
**へ** いのかげはこわい **ほ** どうをあるく です

## 自転車に乗ったときは・・・

- ◆大きなトラックだと、自転車に乗っている姿が見えない角度があるので、自転車の方がきちっと止まって確認する。
- ◆右・左・右・そして右うしろを見ることを忘れない。
- ◆自転車は普通の速さでも、止まるまでの距離は3m40cm、スピードが出ているときは、6m90cmになる。50kmで走っている車なら、10mほども進んでしまう。
- ◆車が止まっている横を通るとき、ドアが開いてぶつかる可能性があるので、速度を落とし、十分に気をつけて走行する。
- ◆自転車のブレーキをかけると、右は前のタイヤ、左はうしろのタイヤが止まる。ブレーキをかけるときは必ず左から。右からかけると、前のタイヤがロックされて後ろのタイヤがはねあがり、跳んでしまう（速度が出ている場合）。
- ◆急ブレーキは両手でかける。☞ だからブレーキが壊れているととても危険です。
- ◆角を曲がるときは、必ず手前でスピードを落とす。
- ◆ヘルメットはあごひもをきちんとしてつけてつける。このようなことを守りましょう。



高学年では、自転車も車の仲間であることをしっかり意識しました。一時停止違反や急な進路変更は絶対せず、スピードの出しすぎや飛び出しにくれぐれも注意し、安全に正しく自転車に乗ってください。自分の命を守ることは他の人の命を守ることになります。

ご存知かと思いますが、TSマーク（自転車向け保険）というものもありますので、知りおきください。

### 【自転車点検は「ぶたはしゃべる」でおぼえよう！】

- |     |      |   |   |
|-----|------|---|---|
| ぶ…  | ブレーキ | ☞ | 左右のブレーキはきちんときくか。                                  |
| た…  | タイヤ  | ☞ | 空気は入っているか。パンクしていないか。すり減っておらず、みぞはあるか。              |
| は…  | ハンドル | ☞ | ハンドルは曲がったり、ゆがんだりしていないか。                           |
| しゃ… | 車体   | ☞ | サドルは両足がつく高さか。反射材はあるか。ライトは点灯するか。                   |
| べる… | ベル   | ☞ | ベルは鳴るか。危険ですと知らせるものです。<br>※歩行者にどいてもらうために鳴らすのは違反です。 |



日常においては、たまたま事故にならなただけでヒヤッとする体験は、誰でも一度や二度は経験しているのではないのでしょうか。どんなときも基本のルールは、『止まる・見る・待つ』ですが、交通安全教室で学習したことをきちんと守るだけで交通事故にあう危険はずいぶん減ると思います。

市内では、飛び出しによる事故が多く起こっています。残念ながら本校においても、自転車における事故がありました。交通事故に巻き込まれる危険性はいつでもありますので、うちのほうでもお子さんと安全な歩行や自転車の乗り方などについてお話してください。また、お子さんが自転車に乗るときは、ヘルメットを着用させてください（13歳未満のヘルメット着用は道路交通法の努力義務ですが、着用させていただきますようお願いいたします）。

交通事故ばかりでなく、どんなときもルールを守って、自分をしっかり守ってください。